

8 平成29年度の目標面積等

- 平成29年度 水源地域等の森林整備事業 目標面積等について

単位(ha)

事業名	区分	5カ年計画	平成26年度実績	平成27年度		平成28年度				平成29年度予算目標
				計画	実績	計画	実績	繰越	計	
条件不利地 森林整備	区域調査	—	1,205	1,874	1,126	1,550	644	32	676	1,400
	実施計画調査	—	407	1,039	645	800	225	231	456	700
	森林整備	3,500	276	700	466	650	168	249	417	650
水源林 機能増進	区域調査	—	383	397	909	385	416	31	446	420
	実施計画調査	—	135	300	529	222	94	199	293	210
	森林整備	500	88	165	233	100	87	135	222	100
松くい虫 被害地の 再生	区域調査	—	213	45	56	80	148	70	218	100
	実施計画調査	—	36	45	13	40	42	0	42	50
	森林整備	200	12	20	31	40	28	15	43	40
合計	区域調査	—	1,800	2,316	2,090	2,015	1,208	133	1,341	1,920
	実施計画調査	—	578	1,384	1,187	1,062	360	431	790	960
	森林整備	4,200	375	885	730	790	283	399	682	790

- 平成29年度については、平成28年度繰越事業分の399haの森林整備を早期に完成させるとともに、全体計画である4,200haを見据えた上で、新たに790haの森林整備面積を目標に、水源かん養機能などの公益的機能を高めるための森林づくりに取り組みます。

9 評価検証委員会の意見

Ⅱ 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進 《緑化推進課》

1 概要

● 森林ボランティア活動の推進

「森林ボランティア支援センター」を運営し、専用ホームページや情報誌、メールマガジン等による情報の収集・発信や刈払機の取扱いなどの安全指導、森林整備作業器具の貸出し、森林ボランティア体験会の開催など、森林ボランティア活動への一体的なサポートを実施します。

また、「森林ボランティア体験会」や「ボランティア交流会」の開催、市町村提案型事業等への講師・コーディネーターの派遣業務等を実施します。

● 森林環境教育の推進

新たな「緑のインタープリター」を養成し、小中学生を対象にしたフォレストリースクールや市町村提案型事業（森林環境教育）、緑の少年団育成事業、県民を対象にした自然観察会、自然講座等への派遣などを通じて森林環境教育を推進します。

2 実施状況

【平成28年度の実績】

12,937千円

○森林ボランティア活動の推進

- ・森林ボランティア支援センターの運営
- ・専用ホームページ「モリノワ」の運用
- ・情報誌「モリノワ」、メールマガジンの発行
- ・森林整備作業用の機械・器具の貸し出し：77回
- ・安全講習会の開催 開催回数：10回、参加人数：384名
- ・森林ボランティア体験会の開催：開催回数：5回

○森林環境教育の推進

- ・緑のインタープリター養成講座の開催
 - ・新規講座：12回（養成者数22名）
 - ・経験者講座：4回（養成者数4名）



情報誌「モリノワ」



貸出し機材



刈払機の安全講習会



ボランティア体験会



指導者養成講座

3 成果

○森林ボランティア活動の推進

森林ボランティア支援センターを運営し、専用ホームページや情報誌、メルマガジンなどによる情報発信や刈払機取り扱いなどの安全研修、森林整備作業器具の貸出し、新規参入を促すボランティア体験会などを実施し、森林ボランティア団体の活動を支援しました。

○森林環境教育の推進

- ・指導者養成講座の実施により、新たに26名の「緑のインタープリター」を養成しました。
- ・新たに開始した「緑のインタープリター活動登録制度」により94名が活動登録しました。
- ・登録した緑のインタープリターは、市町村提案型事業(森林環境教育)や出前授業の「小・中学生のためのフォレストリースクール」の講師など多方面で活動を行いました。

4 課題・方向性

○森林ボランティア活動の推進

- ・県民自らが森林や林業に関心を持ち森林保全や森林整備の必要性について理解を深めることが重要なことから、森林ボランティアに取り組む団体等の支援をさらに推進する必要があります。

○森林環境教育の推進

- ・森林や自然に対する県民の関心と理解を深めるためには知識・ノウハウのある指導者が不可欠なことから、引き続き指導者の計画的な養成を図っていく必要があります。
- ・また、フォレストリースクールや市町村提案型事業(森林環境教育)等の指導者ニーズに対応するため、指導者の量的・質的確保を図る必要があります。

5 実施状況の評価（評価者：県）

○森林ボランティア活動の推進

専用ホームページや情報誌、メルマガによる情報収集・発信、刈払機などの安全研修、森林整備作業器具の貸出し、ボランティア体験会の開催などの取り組みを行い、おおむね計画どおりに支援を実施しました。

平成28年度末の森林ボランティア団体数は86団体、会員数5,344人(緑化推進課調査)と増加傾向にあります。

○森林環境教育の推進

現地研修や講師実習など実践的なカリキュラムを含め年12回の講座を開催し、26名の「緑のインタープリター」を養成しました。

6 評価検証委員会の意見

1 概要

- 荒廃した里山・平地林の整備

市町村と地域住民やNPO・ボランティア団体等の協働による地域に根ざした森林整備を支援します。

- 貴重な自然環境の保護・保全

市町村あるいは市町村と地域住民が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援します。

- 森林環境教育・普及啓発

児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動を支援します。

森林の機能や重要性について普及啓発する取り組みを支援します。

- 森林の公有林化

水源地域の森林や平地林の購入(公有林化)あるいは平地林を造成しようとする市町村を支援します。

- 独自提案事業

ぐんま緑の県民税の趣旨・目的に適合し、適切な事業であると認められ、評価検証委員会の承認を得た事業を支援します。

2 実施状況

【平成28年度の実績】

232,872千円

3 平成27年度繰越事業

・平成27年度事業のうち、以下の事業については繰越により平成28年度に実施しました。

	繰越			完了			事業量	廃止		
	市町村数	事業数	補助金額(千円)	市町村数	事業数	補助金額(千円)		市町村数	事業数	補助金額(千円)
荒廃した里山・平地林の整備	5	14	62,305	5	12	34,211	森林6ha、竹林5ha	2	2	26,016
貴重な自然環境の保護・保全	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
森林環境教育・普及啓発	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
森林の公有林化	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
独自提案事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	5	14	62,305	5	12	34,211		2	2	26,016

4 平成28年度採択状況

・平成28年度は以下の事業を採択しました。

	計			事業計画量
	市町村数	事業数	補助金額(千円)	
荒廃した里山・平地林の整備	29	197	245,440	森林72ha、竹林30ha、管理144ha
貴重な自然環境の保護・保全	12	25	7,823	動物12種、植物29種
森林環境教育・普及啓発	20	40	19,738	覚満淵等での自然観察会
森林の公有林化	1	1	3,175	水源林3ha
独自提案事業	3	3	3,824	竹林0.5ha、苗木購入1.0ha
合計	35	266	280,000	

5 平成28年度事業実績

・平成28年度は以下の事業を実施しました。

(平成29年5月1日時点実績)

	完了			事業量	参考:繰越			(廃止)		
	市町村数	事業数	補助金額(千円)		市町村数	事業数	補助金額(千円)	市町村数	事業数	補助金額(千円)
荒廃した里山・平地林の整備	29	158	170,958	森林50ha、竹林20ha、管理116ha	6	19	31,932	6	20	15,733
貴重な自然環境の保護・保全	12	25	7,606	動物12種、植物29種	—	—	—	—	—	—
森林環境教育・普及啓発	20	39	18,259	約8,000人	—	—	—	1	1	300
森林の公有林化	—	—	—	水源林3ha	1	1	530	—	—	—
独自提案事業	2	2	1,838	森林1ha、竹林2ha	—	—	—	1	1	149
合計	35	224	198,661		7	20	32,462	8	22	16,182

※変更等により補助金額の増減があるため、採択時の合計補助金額と実績の合計補助金額は一致しません。

・市町村提案型事業の状況



荒廃した里山・平地林の整備（沼田市）



荒廃した里山・平地林の整備（片品村）



荒廃した里山・平地林の整備（東吾妻町）